

© 創通・サンライズ

Illustrated by MASANORI SHINO

RX-75 'GUNTANK'

E.F.S.F. PROTOTYPE LONG-RANGE SUPPORT MOBILE SUIT



MODEL NUMBER : RX-75 TOTAL HEIGHT : 15.6m WEIGHT : 56.0t
 TOTAL WEIGHT : 80.0t GENERATOR OUT PUT : 878kw
 THRUSTER GENERAL OUT PUT : 88000kg MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY
 ARMAMENTS : 120mm LOW REACTION CANNON X2 40mm QUADRUPLLET BOB MISSILE LAUNCHER X2



HG
UNIVERSAL CENTURY

**BAN
DAI**

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

※この商品には、ガンタンクが1体入っています。

※パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。

RX-75 'GUNTANK'

E.F.S.F. PROTOTYPE LONG-RANGE SUPPORT MOBILE SUIT

© 1995 ジョージ・アベ

MODEL NUMBER : RX-75

TOTAL HEIGHT : 15.6m

WEIGHT : 56.0t

TOTAL WEIGHT : 80.0t

GENERATOR OUT PUT : 878kw

THRUSTER GENERAL OUT PUT :
85000kg

MATERIAL : LUNA-TITANIUM ALLOY

ARMAMENTS :

120mm LOW REACTION CANNON×2

40mm QUADRUPLT BOB MISSILE LAUNCHER×2



1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

平置の状態では、組み立ててあります。

Scanned by Dalong.net

**BAN
DAI**

RX-75 "GUNTANK"

「ガンタンク」は、U.C.0079年に連邦軍が「V作戦」に基づいて「ガンダム」「ガンキャノン」などと共に開発した長距離支援型MSである。実質的な開発そのものは「RX計画」以前から進行していた次世代MBT開発プロジェクトに端を発するが、RX計画の実施に伴って、その部門ごと同計画に統合された。さらに基本仕様は「対MS戦にも対応可能な機体」に変更され、連邦軍による最初期のMS、RTX-44として4機ほどが完成した。RX-75ガンタンクは、その機体が「V作戦」におけるMSの動力系のテストヘッドとして改装され、熱核反応炉やコアブロックシステムを組み込んだ機体として再設計された機体なのである。

ヘッドユニット

もともとRTX-44の「頭部」は「機体制御用」コクピットとは独立した「頭部」として設計されていたが、ホワイトベースの艦体内においては、パイロット不足という理由から改修が施され、機体の制御や火器管制を含む全ての操作は頭部から可能となった。MSとして他と比較すると異例な措置だが、ガンタンクの「長距離支援型」という運用側面から見れば、妥当であるとも思えるだろう。



バックパック

キャタピラ

RX-75は、連邦軍製MSの開発技術が確立される以前に設計されたためキャタピラが採用されたままであった。技術的には、MSの「頭部」の信頼性や実効性が検証した場合の保険として温存されていたという側面もあったのである。実際には、このキャタピラ自体既存の戦車車輪などから見れば非常に巨大であり、旧世紀のロケットの移動式打上台や運搬などの技術が活用されている。この設備は空間戦闘において完全なデッドウェイトとなるが、重力下においてはこの巨体を時速約70kmで駆動させることができる。価格の機動装置でもあった。



40mm4連装ポップミサイルランチャー

120mm低反動キャノン

SPEC

型式番号：RX-75
全高：15.6m
本体重量：56.0t
全備重量：80.0t
ジェネレーター出力：878kw
スラスター総推力：88000kg
装甲材質：超鋼合金ルナ・チタニウム
武装：120mm低反動キャノン×2
40mm4連装ポップミサイルランチャー×2

コクピット

フレキシブルショルダー

RX-75 ガンタンク

「ガンタンク」の最終アッセンブリーは、サイド7の連邦重工において極秘裡に行われていたが、搬出直前に敵の襲撃を受け、その戦闘によって正規乗組員のほとんどが死傷してしまったため、母艦であるホワイトベースとともに避難した少年少女たちの手によって運用されることとなった。実際、この機体の実戦投入は疑問視されていたらしいが、確たる戦果を挙げたことも事実である。

▼40mm4連装ポップミサイルランチャー この機体は、開発本上で利用可能への対応が図られたため、逐次開発時の対応策として、別の兵器の固定兵器として開発されていた武器を緊急に組み込んでいる。敵機機体も機銃に内蔵されているため射撃時の可動範囲が狭く、マニピュレーターとしてはほとんど満足しない。



▲120mm低反動キャノン 信頼性の高い既存の技術を盛り込んだ高射撃の実体弾を高速度で射出する。この武器はビームライフルの開発が実戦投入に間に合わなかった場合の善後策として採用されたものだったが、誘導兵器が使用できない状況下において、特に地上戦では威力を発揮した。



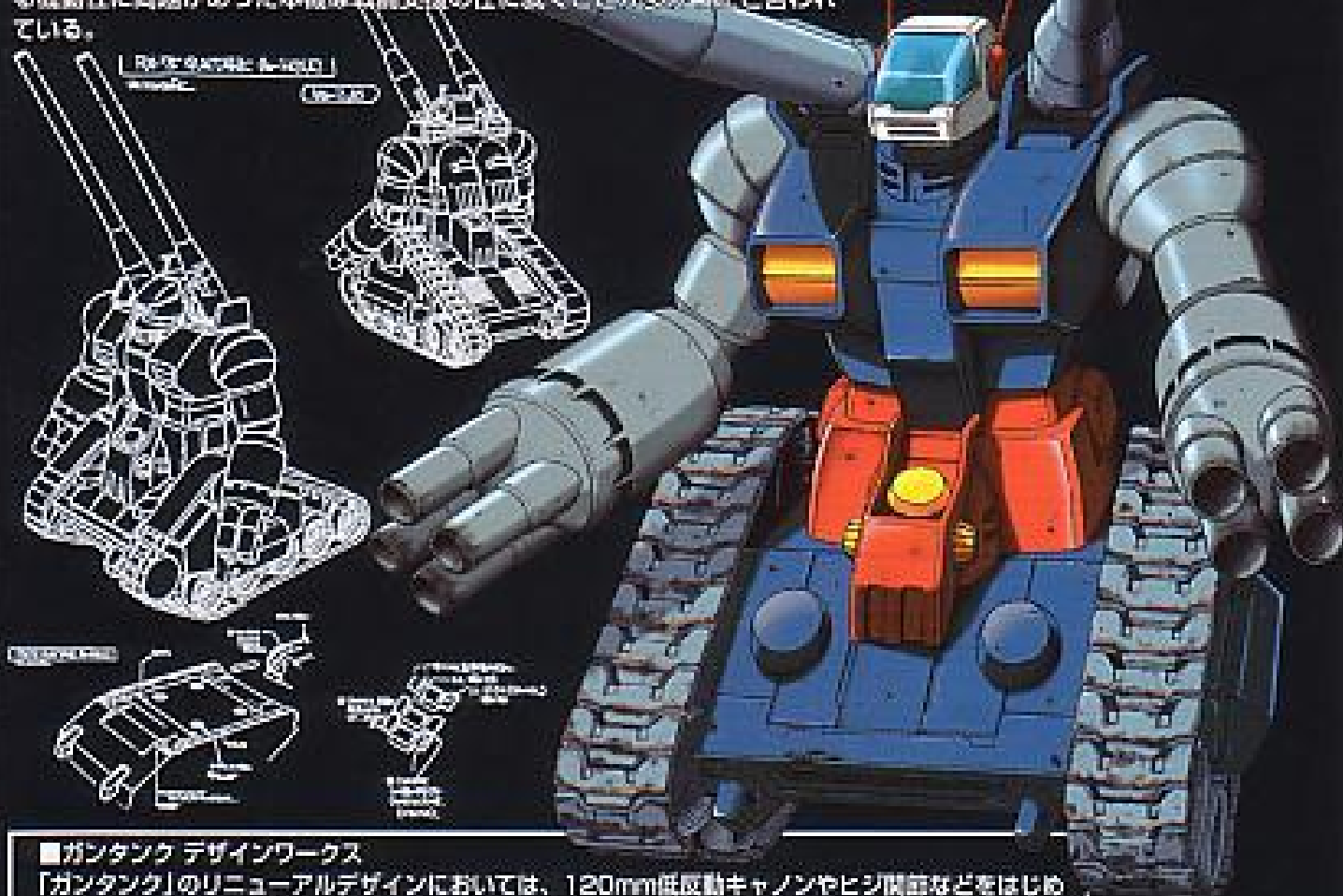
協力：ホビージャパン

ガンタンク

RX-75ガンタンクは、連邦軍初のRXモデルスーツだが、既存の動力機構と無軌道式の機動装置を持つMSは、高軍を過ぎて唯一と言っても過言ではない。ただし、MSサイズの機動兵器としては十分な成果を挙げており、また、破壊性ほどもかく、MSが根本的に抱えていた「地上における行動半径の狭さ」という問題を甲斐で解消した唯一の機体でもあったのである。RX-75の主要装備として開発されたGファイターがキャタピラを使うモードをバリエーションに持つのはそのためらしい。また、「戦車専用」として世界が評価もあつたため、長年防衛用に再設計された後継機RMV-1ガンタンクⅡは、世に置かれることとなった。

■RX-75 GUNTANK (ガンタンク)

ホワイトベース部隊において、主にガンタンクに搭乗したのは、ハヤト・コバヤシやリュウ・ホセイであった。他のクルーによっても何度が運用されているが、長距離戦闘においては、その威力を遺憾なく発揮していた。ジャブロー攻略戦以降は、主戦場が宇宙に移行したこともあり、空間戦闘における機動性に同期があつた本機は戦闘支援の任に就くことが多かったと言われている。



■ガンタンク デザインワークス

「ガンタンク」のリニューアルデザインにおいては、120mm低反動キャノンやヒジ関節などをはじめとする、機体各部のフレキシブルな可動を可能とし、キャタピラ等に見られる戦車をイメージさせるディテールの追求が重点的なポイントと言える。

(コンセプトデザイン：カトキハジメ)

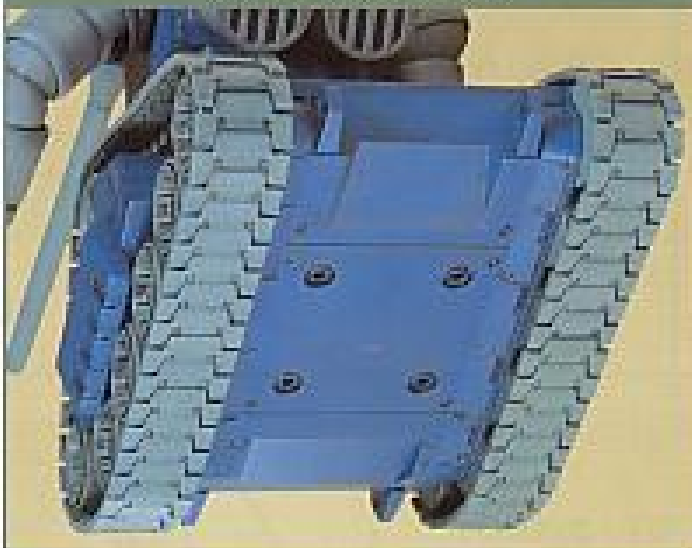
サイドビュー



戦闘状態 (アクションポーズ)



機体下部ディテール



リアビュー



COLOR GUIDE

※よりリアルでは上げたい方は、下の基本色をご確認ください。

※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●写真の完成品は、塗装してあります。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、ガンダム世界より発売のガンダムカラー (HG「ガンタンク」用、その他カラーセット) をお使いください。

●胸、車体：

- インディゴブルー (40%)
- + コバルトブルー (40%)
- + レッド (10%)
- + ホワイト (10%)
- ※または、ガンダムカラーブルー5

●砲塔、ホイール：

- ミディアムブルー (40%)
- + ニューラルグレー (40%)
- + イエロー (10%)
- + ホワイト (10%)
- ※または、ガンダムカラーグレー4

●足、履帯等：

- モンザレッド (100%)
- ※または、ガンダムカラーレッド1

●顔部：

- ホワイト (100%)
- ※または、ガンダムカラーホワイト2

●インテーク等：

- イエロー (50%)
- + オレンジイエロー (30%)
- + ホワイト (10%)
- ※または、ガンダムカラーイエロー1

●銃撃：

- ニューラルグレー (40%)
- + ミディアムブルー (40%)
- + ホワイト (20%)
- ※または、ガンダムカラーグレー2

⚠ 注 意

必ずお読みください

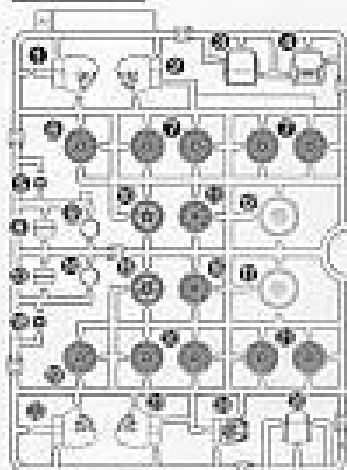
- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の甲には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

（組み立てる時の注意）

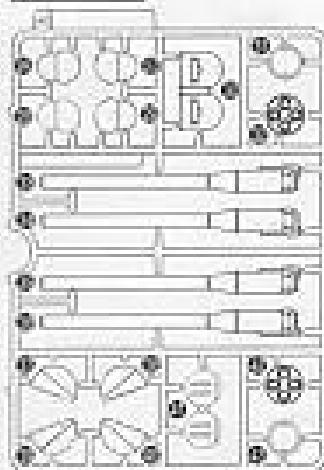
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト

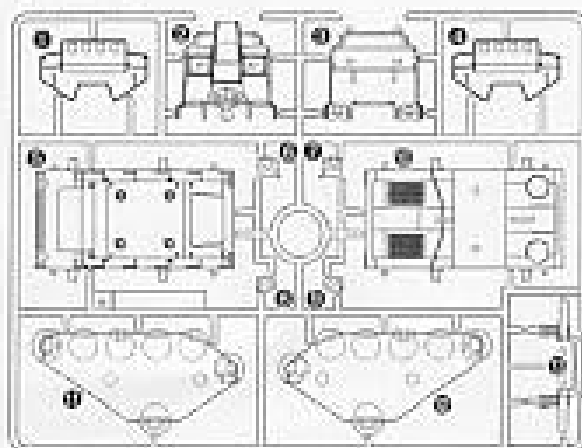
A1パーツ



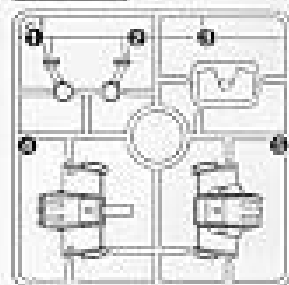
A2パーツ



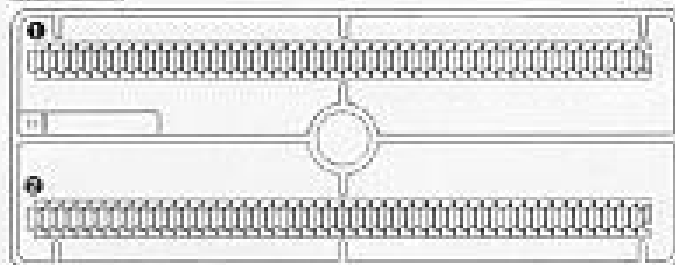
Bパーツ



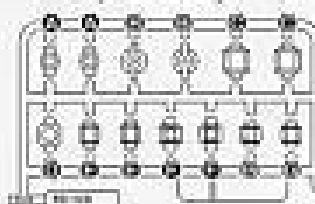
Cパーツ



Dパーツ



〈P.C-123〉



※P.C⑤1個は予備です。
P.C⑥は使いません。

（お買い上げのお客様へ）

部品をこわしたり、なくした人には実費にてお分けします。「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき下記までお申し込みください。代金は、部品代（1個40円×個数）+郵送料（120円）です。為替記書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求、120円以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

（Dパーツは各80円です。）

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター

〒424-8735 静岡県清水市西久保305 TEL0543-65-5315

部品注文カード

75486-800

1/144SCALE HG

RX-75 ガンタンク

必要な部品の記号・番号・数量をかく

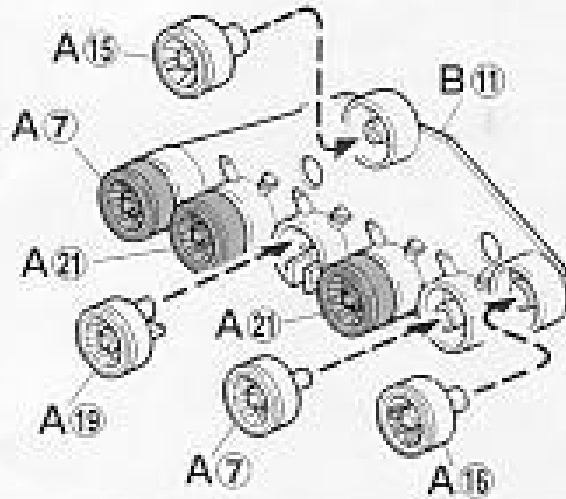
●注文された部品(○で囲み)にかいたなくし

部品の注文は「定額小為替」でお願いいたします。

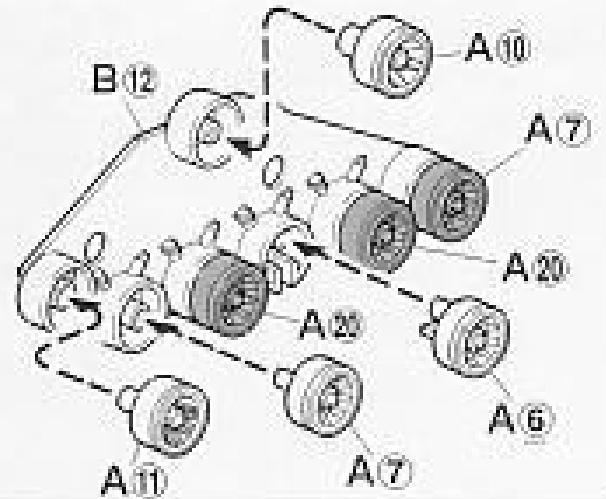
30.1

1 (タンク本体の組み立て)

〈右車輪〉

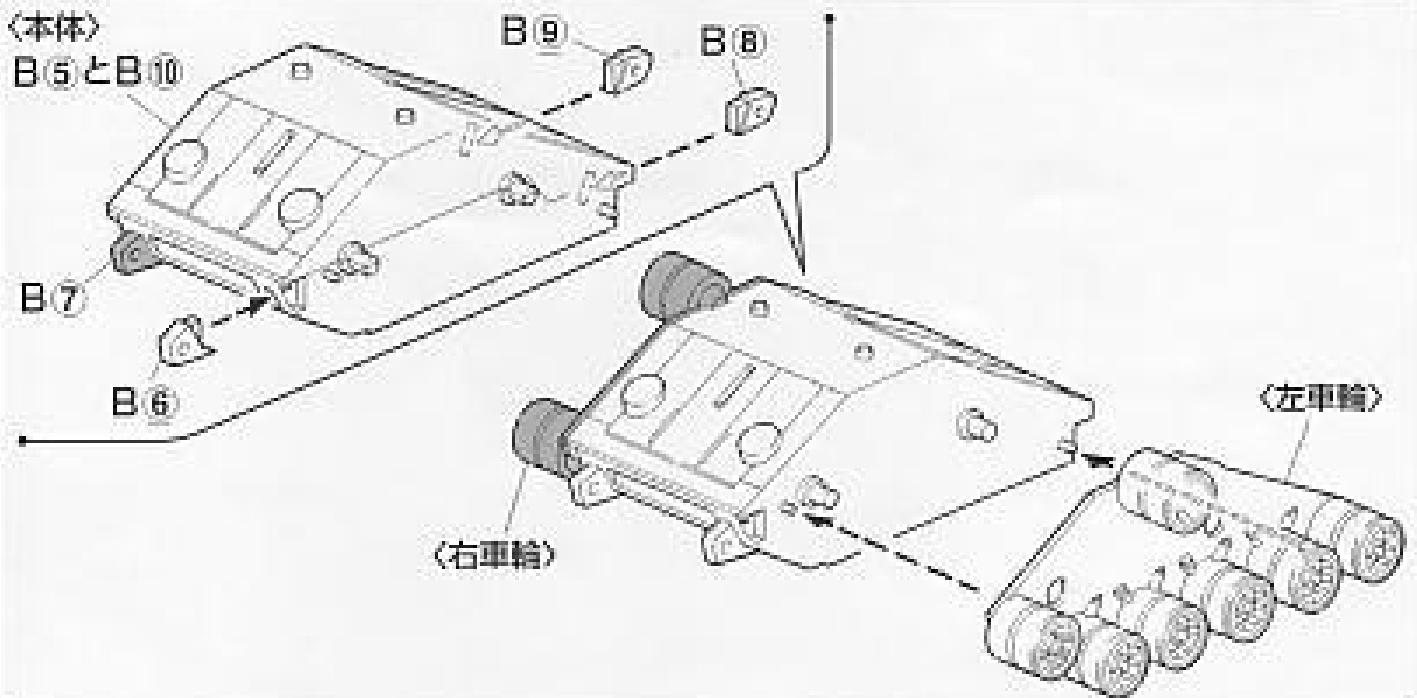


〈左車輪〉

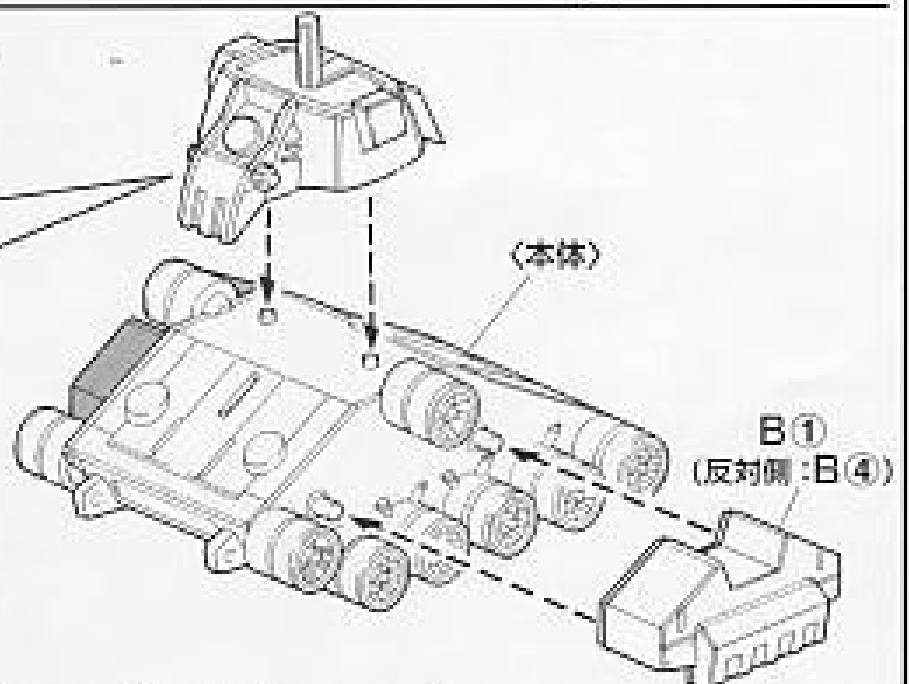
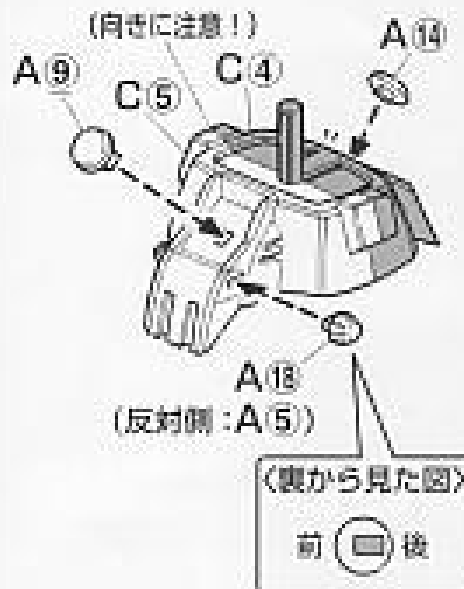


〈本体〉

B5とB10



〈タンク本体の完成〉



2 (キャタピラの取り付け)

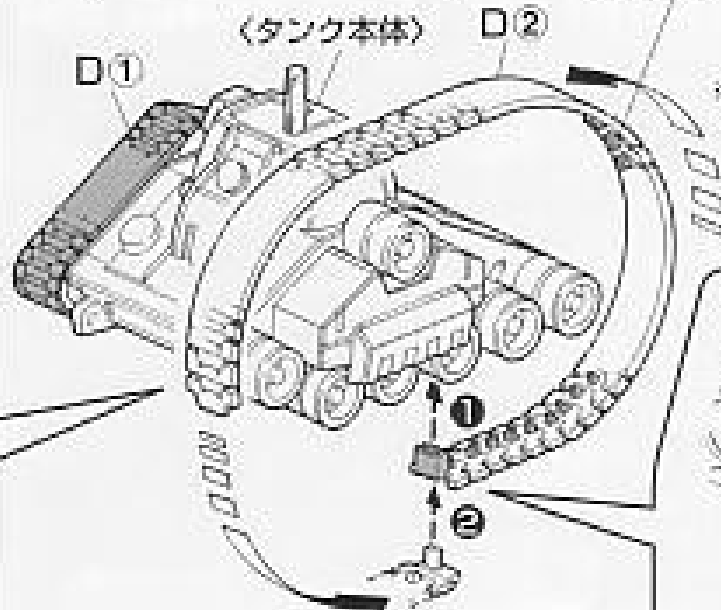
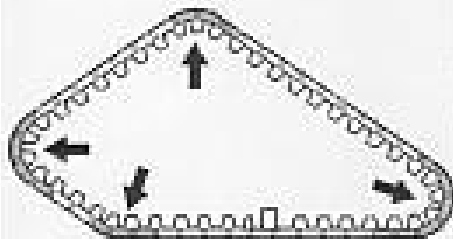
△注意

●キャタピラは曲げすぎると白く変色したり、切れたりする恐れがあります。

※この部分を車輪のミゾに合わせていけます。

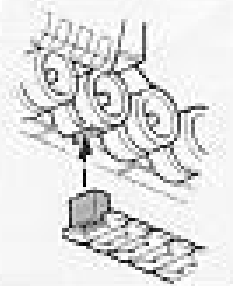
〈裏から見た図〉

※この印の内側の部分を少し曲げておきます。



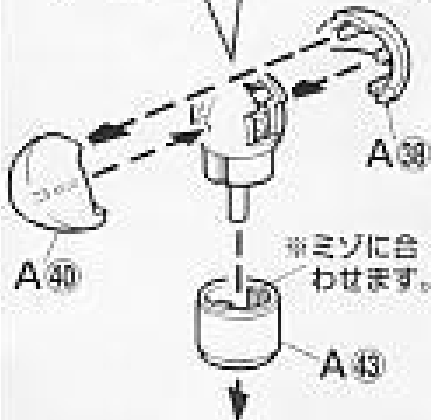
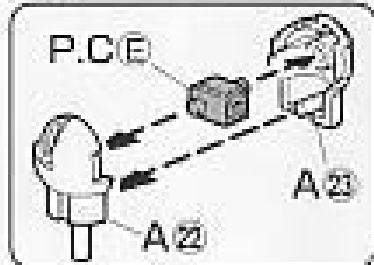
※右側も同様に取り付けます。

※図の位置に取り付けます。

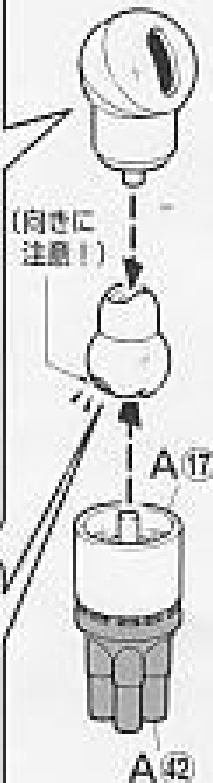


3 (右腕の組み立て)

〈右上図〉

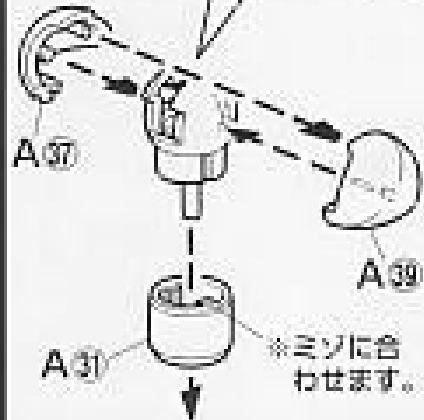
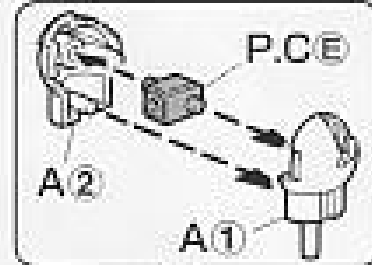


〈右腕の完成〉

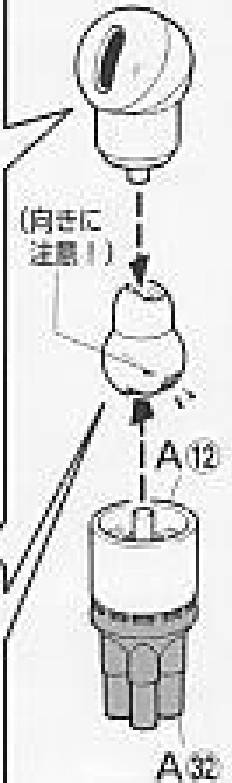


4 (左腕の組み立て)

〈左上図〉



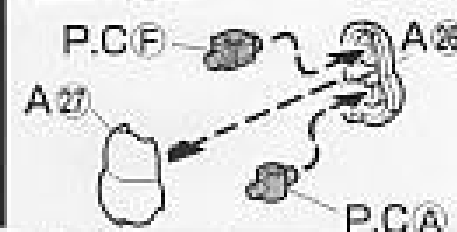
〈左腕の完成〉



〈右ヒジ関節〉

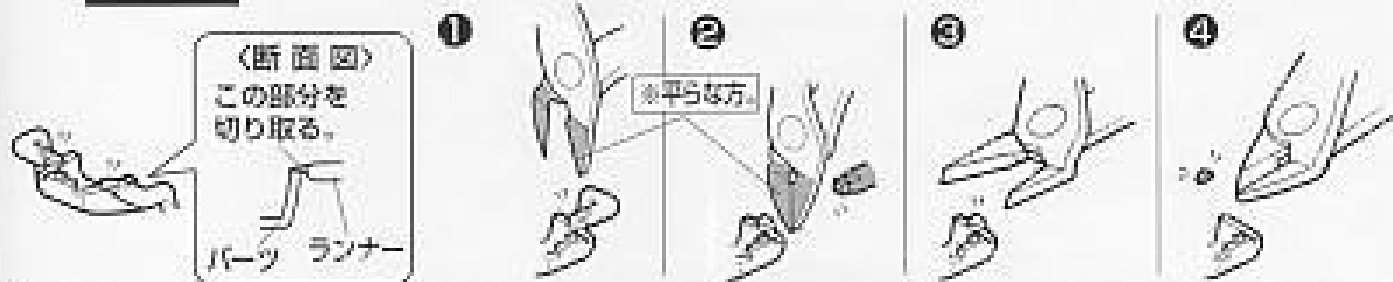


〈左ヒジ関節〉



5 (頭部の組み立て)

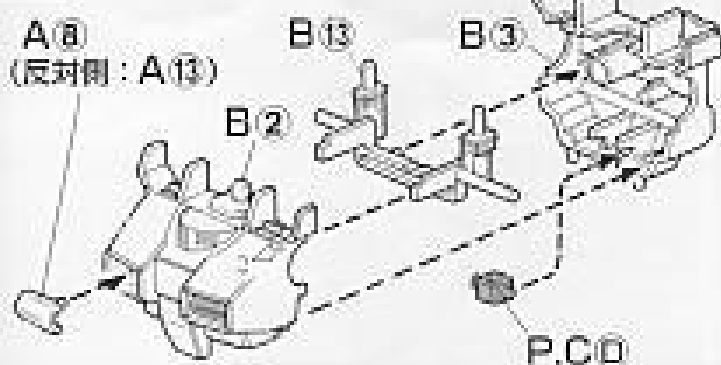
注意! ※A25パーツは、下の図の様に切り取るとキレイになります。



※①～④は組み立てる順番です。

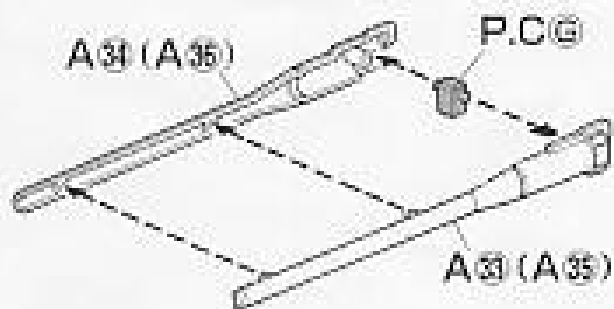


6 (ボディの組み立て)



7 (キャノン砲の組み立て)

※2個作ります。



8 (完成)

